



今日のトピック 米国株式市場のアノミーを確認

9月は下落の月だが、その後は回復する傾向に

- 米国株式市場には様々な経験則（アノミー）があります。例えば、1月は株価の上昇率が他の月よりも高くなりやすい（1月効果）といった事象が有名です。こうしたアノミーについて、NYダウ、S&P500種指数、NASDAQ総合指数の月次騰落率を用いて確認しました。
- 指数間で若干の差異はありますが、①1月以外にも4月、7月、11月、12月に上昇しやすい、②3指数ともに9月が下落しやすい、といった傾向が読み取れました。足元の9月を起点に考えると、11月、12月に上昇しやすいという傾向がある点は注目されそうです。なお、1月効果ですが、NASDAQ総合指数の1月の上昇率が最も高いことを確認できました。S & P500種指数も1月は勝率で上位となりましたが、上昇率ではNASDAQ総合指数ほどの強い傾向は認められませんでした。
- 株式市場では大幅な上昇や下落といった場面は月に関係なく常に起こります。それでも月によって平均的な傾向があることも確かなようです。こうしたアノミーを米国株に投資する際のヒントとして活用することができるかもしれません。

【図表：米国株式市場の月次騰落率】

NYダウ（1929年～2022年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均騰落率 (%)	0.9	0.1	0.5	1.5	▲ 0.3	0.4	1.6	0.7	▲ 1.3	0.4	1.1	1.3
騰落率の順位	5	10	7	2	11	8	1	6	12	9	4	3
勝率 (%)	62.8	56.4	62.4	61.7	57.0	50.0	66.7	60.2	40.4	60.2	65.6	73.1
勝率の順位	4	10	5	6	9	11	2	7	12	7	3	1

S&P500種指数（1929年～2022年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均騰落率 (%)	1.2	▲ 0.1	0.5	1.3	▲ 0.0	0.7	1.7	0.7	▲ 1.2	0.6	0.9	1.3
騰落率の順位	4	11	9	2	10	6	1	7	12	8	5	3
勝率 (%)	61.7	53.2	60.6	64.9	58.5	57.4	59.6	57.4	44.1	59.6	60.6	73.4
勝率の順位	3	11	4	2	8	9	6	9	12	6	4	1

NASDAQ総合指数（1972年～2022年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均騰落率 (%)	2.4	0.5	0.6	1.4	1.0	0.8	0.9	0.3	▲ 0.9	0.9	1.9	1.3
騰落率の順位	1	10	9	3	5	8	6	11	12	7	2	4
勝率 (%)	64.7	52.9	62.7	64.7	60.8	56.9	58.8	54.9	51.0	56.9	72.5	58.8
勝率の順位	2	11	4	2	5	8	6	10	12	8	1	6

(注) データはNYダウ、S&P500種指数は1929年～2022年、NASDAQ総合指数は1972年～2022年。

▲ は上位3位までの月を示す。平均騰落率は期間内の月次騰落率の平均値。勝率は上昇月数÷(上昇月数+下落月数)で計算。

(出所) Bloomberg等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフストラテジスト
石山仁 (いしやまひとし)

ここも
チェック!

2023年6月12日 出遅れ米小型株。復活の条件を探る (2)
2023年6月 1日 出遅れ米小型株。復活の条件を探る (1)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。